

目次

ごあいさつ	3
目次・凡例	4
プロローグ	5
第一章 鳥取の海のあけぼの	9
第二章 鹿野城主亀井茲矩と朱印船貿易	13
第三章 鳥取池田家の海洋政策	27
トビラク 横河次太夫と大坂城石垣普請	29
第四章 庶民のくらしと海	43
第五章 異国との出会い	65
第六章 描かれた鳥取の海	75
第七章 幕末の海岸防備	79
エピローグ	85
トビラク「網代誌」に見る山陰線の開通と網代港	88
資料解説	89
論考「鳥取藩の御船手組織について」	123
付表「浜田外浦へ入船した鳥取の船」	131

〔凡例〕

・本図録は、平成十七年（二〇〇六）十月九日（土）から十月十四日（日）に開催する企画展「海と生きる―海から見た江戸時代のとっとり―」の図録である。

・展示資料名は基本的に所蔵者が付したものに依ったが、語句の統一を図るため、一部表記を変えた箇所がある。

・展示資料と掲載資料は部異なることがある。

・掲載された資料のなかには、今日の人権意識に照らし、差別的な表現が含まれているものがある。しかし、これも含め歴史資料として、差別が形成された経緯を説明し、その正確な理解を得るためには不可欠なものと考へ、また人権意識について考える契機として、ただく意味を認め、本書にそのまま掲載した。この点について、読者のご理解をお願いしたい。

・資料解説は、鳥取県立博物館学芸員が左記の通り分担執筆した。

大嶋陽（下記以外の解説、トビラク及び「鳥取藩の御船手組織について」、石田敏紀（61頁）、福代安（127）、東方仁史（4、107）、米見田博基（108頁）

・資料選別について、青日佐保子氏の協力を得た。

・本図録の編集は、大嶋陽が行った。